

臨床医学各論 内分泌疾患 キーワード：クッシング病 P. 99

はき 10-76 疾患と血清カリウムとの組み合わせで正しいのはどれか。

1. アジソン病 — 低カリウム血症
2. コン症候群 — 低カリウム血症
3. クッシング病 — 高カリウム血症
4. バセドウ病 — 高カリウム血症

はき 18-73 クッシング病でみられやすいのはどれか。

1. 月経異常
2. るいそう
3. 低血圧
4. 恥毛脱落

はき 33-61 内分泌疾患と症状の組み合わせで正しいのはどれか。

1. アジソン病 ———— 色素沈着
2. バセドウ病 ———— テタニー
3. クッシング病 ———— 眼球突出
4. 原発性アルドステロン症 ——— 満月様顔貌

臨床医学各論 内分泌疾患 キーワード：先端巨大症、巨人症 P. 100

はき 4-79 テタニー症状をきたす疾患はどれか。

1. 巨人症
2. 尿崩症
3. バセドウ病
4. 副甲状腺機能低下症

はき 5-86 内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 糖尿病 — 多尿
2. 褐色細胞腫 — 高血圧
3. バセドウ病 — 眼球陥凹
4. 先端巨大症 — 舌の肥大

はき 14-71 巨人症でみられないのはどれか。

1. 発汗過多
2. 高血圧
3. 筋緊張亢進
4. 月経異常

はき 27-63 先端巨大症の原因とならないのはどれか。

1. 腭頭部腫瘍
2. 胃ポリープ
3. 下垂体腺腫
4. 気管支カルチノイド

はき 29-60 女性に多く発症するのはどれか。

1. 橋本病
2. 尿崩症
3. 先端巨大症
4. 原発性アルドステロン症

臨床医学各論 内分泌疾患 キーワード：成長ホルモン分泌不全性低身長性（下垂体性低身長症）	P. 101
--	--------

はき 16-68 成長ホルモン分泌不全性低身長症（下垂体性低身長症）について正しい記述はどれか。

1. 身体各部の均整はとれている。
2. 知能の発達障害がみられる。
3. 器質性が 80%である。
4. 器質性の原因では脳炎が最も多い。

臨床医学各論 内分泌疾患 キーワード：尿崩症 P. 101	
-------------------------------	--

はき 1-87 内分泌疾患について誤っているのはどれか。

1. バセドウ病は男性に多い。
2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。
3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。
4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。

はき 4-79 テタニー症状をきたす疾患はどれか。

1. 巨人症
2. 尿崩症
3. バセドウ病
4. 副甲状腺機能低下症

はき 8-70 腎盂腎炎を起こしにくいのはどれか。

1. 馬蹄腎
2. 尿路結石
3. 膀胱尿管逆流現象
4. 尿崩症

はき 8-72 四肢麻痺をきたす疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 尿崩症
3. アジソン病
4. 原発性アルドステロン症

はき 12-73 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「35歳の男性。口渇、多飲、多尿（低比重尿）、水制限試験で尿量の減少はみられなかった。」

1. 糖尿病
2. 心因性多尿
3. 尿崩症
4. 原発性アルドステロン症

はき 13-70 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「45歳の男性。高血圧、多尿、四肢麻痺、低カリウム血症、高ナトリウム血症を認めた。」

1. 尿崩症
2. 原発性アルドステロン症
3. 褐色細胞腫
4. 副甲状腺機能亢進症

はき 15-62 疾患と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体性尿崩症 — 高張尿
2. 甲状腺機能亢進症 — 高コレステロール血症
3. 副甲状腺機能低下症 — 高カルシウム血症
4. アジソン病 — 高カリウム血症

はき 18-70 下垂体性尿崩症について誤っている記述はどれか。

1. バゾプレッシンの分泌が低下している。
2. 続発性尿崩症の頻度が高い。
3. 高血糖を認める。
4. 多飲となる。

はき 29-60 女性に多く発症するのはどれか。

1. 橋本病
2. 尿崩症
3. 先端巨大症
4. 原発性アルドステロン症

はき 1-87 内分泌疾患について誤っているのはどれか。

1. バセドウ病は男性に多い。
2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。
3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。
4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。

はき 2-70 二次性高血圧の原因とならない疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アルドステロン症
3. アジソン病
4. バセドウ病

はき 4-79 テタニー症状をきたす疾患はどれか。

1. 巨人症
2. 尿崩症
3. バセドウ病
4. 副甲状腺機能低下症

はき 5-83 肥満をきたす内分泌疾患はどれか。

1. バセドウ病
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. シーハン症候群

はき 5-86 内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 糖尿病 — 多尿
2. 褐色細胞腫 — 高血圧
3. バセドウ病 — 眼球陥凹
4. 先端巨大症 — 舌の肥大

はき 6-83 骨粗鬆症について誤っている記述はどれか。

1. 骨の化学的成分は正常である。
2. 骨の絶対量は減少する。
3. 閉経後に生じるのは高回転性である。
4. 甲状腺機能亢進症でみられる。

はき 6-86 バセドウ病でみられる症候はどれか。

1. 手指振戦
2. 寒がり
3. 眼瞼下垂
4. 徐脈

はき 10-74 四肢の筋力低下をきたさないのはどれか。

1. バセドウ病
2. 褐色細胞腫
3. 原発性アルドステロン症
4. 低カリウム血症

はき 10-76 疾患と血清カリウムとの組み合わせで正しいのはどれか。

1. アジソン病 — 低カリウム血症
2. コン症候群 — 低カリウム血症
3. クッシング病 — 高カリウム血症
4. バセドウ病 — 高カリウム血症

はき 12-81 手根管症候群の原因とならないのはどれか。

1. 妊 娠
2. 甲状腺機能亢進症
3. 関節リウマチ
4. 糖尿病

はき 15-62 疾患と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体性尿崩症 — 高張尿
2. 甲状腺機能亢進症 — 高コレステロール血症
3. 副甲状腺機能低下症 — 高カルシウム血症
4. アジソン病 — 高カリウム血症

はき 16-69 甲状腺刺激ホルモンが高値となるのはどれか。

1. アジソン病
2. バセドウ病
3. 粘液水腫
4. 胞状奇胎

はき 23-59 甲状腺機能亢進症でよくみられる症状はどれか。

1. 体重減少
2. 発汗量減少
3. 食欲低下
4. 記憶力低下

はき 1-87 内分泌疾患について誤っているのはどれか。

1. バセドウ病は男性に多い。
2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。
3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。
4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。

はき 3-77 疾患と原因との組合せで誤っているのはどれか。

- | | | |
|-------------|---|---------|
| 1. 成人T細胞白血病 | — | ウイルス |
| 2. 血友病 | — | 血小板減少 |
| 3. 粘液水腫 | — | 甲状腺機能低下 |
| 4. 痛 風 | — | 高尿酸血症 |

はき 4-78 粘液水腫について誤っている記述はどれか。

1. 甲状腺機能の低下である。
2. 寒がりとなる。
3. 頻脈が見られる。
4. 甲状腺刺激ホルモンが増加する。

はき 13-69 甲状腺機能低下症でみられないのはどれか。

1. テタニー
2. 嗄 声
3. 便 秘
4. 言語緩慢

はき 16-69 甲状腺刺激ホルモンが高値となるのはどれか。

1. アジソン病
2. バセドウ病
3. 粘液水腫
4. 胎状奇胎

はき 25-71 内分泌疾患と検査値の組合せで正しいのはどれか。

- | | | |
|----------------|-------|--------------|
| 1. 褐色細胞腫 | ————— | 血中カテコールアミン低値 |
| 2. アジソン病 | ————— | 血中ACTH低値 |
| 3. 原発性アルドステロン症 | ———— | 血漿レニン活性低値 |
| 4. 原発性甲状腺機能低下症 | ———— | 血中TSH低値 |

はき 26-71 甲状腺機能低下症でみられるのはどれか。

1. 頻 脈
2. 眼球突出
3. 粘液水腫
4. 発汗過多

はき 31-64 甲状腺機能低下症の症状で正しいのはどれか。

1. 頻 脈
2. 手指振戦
3. 体重増加
4. 発汗過多

臨床医学各論 内分泌疾患 キーワード：慢性甲状腺炎（橋本病）

P. 104

はき 29-60 女性に多く発症するのはどれか。

1. 橋本病
2. 尿崩症
3. 先端巨大症
4. 原発性アルドステロン症

臨床医学各論 内分泌疾患 キーワード：副腎皮質機能亢進症（クッシング症候群）
--

P. 105

はき 5-83 肥満をきたす内分泌疾患はどれか。

1. バセドウ病
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. シーハン症候群

はき 7-76 高血圧がみられない疾患はどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. 褐色細胞腫

はき 10-76 疾患と血清カリウムとの組み合わせで正しいのはどれか。

1. アジソン病 — 低カリウム血症
2. コン症候群 — 低カリウム血症
3. クッシング病 — 高カリウム血症
4. バセドウ病 — 高カリウム血症

はき 12-77 低血圧がみられる疾患はどれか。

1. クッシング症候群
2. コン症候群
3. シモンズ病
4. レイノー病

はき 17-74 副腎の疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

- | | | |
|----------------|---|---------|
| 1. 原発性アルドステロン症 | ー | 高カリウム血症 |
| 2. クッシング症候群 | ー | 高血糖 |
| 3. 褐色細胞腫 | ー | 低血圧 |
| 4. アジソン病 | ー | 多毛 |

はき 18-73 クッシング病でみられやすいのはどれか。

1. 月経異常
2. るいそう
3. 低血圧
4. 恥毛脱落

はき 24-58 月経異常の原因とならないのはどれか。

1. ネフローゼ症候群
2. クッシング症候群
3. 子宮筋腫
4. 神経性食思不振症

はき 24-62 骨粗鬆症の原因でないのはどれか。

1. クッシング症候群
2. コルチコステロイドの投与
3. ビタミンA欠乏
4. 閉経

はき 28-62 高血圧と耐糖能異常のいずれも認めないのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 原発性アルドステロン症

はき 29-58 不眠がみられにくいのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. バセドウ病

はき 7-76 高血圧がみられない疾患はどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. 褐色細胞腫

はき 8-72 四肢麻痺をきたす疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 尿崩症
3. アジソン病
4. 原発性アルドステロン症

はき 10-74 四肢の筋力低下をきたさないのはどれか。

1. バセドウ病
2. 褐色細胞腫
3. 原発性アルドステロン症
4. 低カリウム血症

はき 12-73 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「35歳の男性。口渇、多飲、多尿（低比重尿）、水制限試験で尿量の減少はみられなかった。」

1. 糖尿病
2. 心因性多尿
3. 尿崩症
4. 原発性アルドステロン症

はき 13-70 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「45歳の男性。高血圧、多尿、四肢麻痺、低カリウム血症、高ナトリウム血症を認めた。」

1. 尿崩症
2. 原発性アルドステロン症
3. 褐色細胞腫
4. 副甲状腺機能亢進症

はき 15-63 原発性アルドステロン症の腎臓で再吸収が亢進しているのはどれか。

1. ナトリウムイオン
2. カリウムイオン
3. 水素イオン
4. カルシウムイオン

はき 17-74 副腎の疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 原発性アルドステロン症 — 高カリウム血症
2. クッシング症候群 — 高血糖
3. 褐色細胞腫 — 低血圧
4. アジソン病 — 多毛

はき 20-68 原発性アルドステロン症で正しいのはどれか。

1. 低血圧
2. アルカローシス
3. 高マグネシウム血症
4. 血漿レニン活性高値

はき 22-73 原発性アルドステロン症でみられるのはどれか。

1. 高マグネシウム血症
2. 低ナトリウム血症
3. アシドーシス
4. 血漿レニン活性低値

はき 25-71 内分泌疾患と検査値の組合せで正しいのはどれか。

1. 褐色細胞腫 ————— 血中カテコールアミン低値
2. アジソン病 ————— 血中ACTH低値
3. 原発性アルドステロン症 ——— 血漿レニン活性低値
4. 原発性甲状腺機能低下症 ——— 血中TSH低値

はき 28-62 高血圧と耐糖能異常のいずれも認めないのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 原発性アルドステロン症

はき 29-60 女性に多く発症するのはどれか。

1. 橋本病
2. 尿崩症
3. 先端巨大症
4. 原発性アルドステロン症

はき 2-70 二次性高血圧の原因とならない疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アルドステロン症
3. アジソン病
4. バセドウ病

はき 3-75 アジソン病の症状でないのはどれか。

1. 易疲労性
2. 色素沈着
3. 高血圧
4. 無月経

はき 5-83 肥満をきたす内分泌疾患はどれか。

1. バセドウ病
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. シーハン症候群

はき 7-76 高血圧がみられない疾患はどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. 褐色細胞腫

はき 8-72 四肢麻痺をきたす疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 尿崩症
3. アジソン病
4. 原発性アルドステロン症

はき 10-76 疾患と血清カリウムとの組み合わせで正しいのはどれか。

1. アジソン病 — 低カリウム血症
2. コン症候群 — 低カリウム血症
3. クッシング病 — 高カリウム血症
4. バセドウ病 — 高カリウム血症

はき 13-71 アジソン病の症状で ACTH 増加によるのはどれか。

1. 腋毛脱落
2. 色素沈着
3. 低血圧
4. 低血糖

はき 15-62 疾患と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体性尿崩症 — 高張尿
2. 甲状腺機能亢進症 — 高コレステロール血症
3. 副甲状腺機能低下症 — 高カルシウム血症
4. アジソン病 — 高カリウム血症

はき 16-69 甲状腺刺激ホルモンが高値となるのはどれか。

1. アジソン病
2. バセドウ病
3. 粘液水腫
4. 胞状奇胎

はき 17-74 副腎の疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 原発性アルドステロン症 — 高カリウム血症
2. クッシング症候群 — 高血糖
3. 褐色細胞腫 — 低血圧
4. アジソン病 — 多毛

はき 19-67 アジソン病でみられないのはどれか。

1. 多毛
2. 黒色斑点
3. 低血圧
4. 月経異常

はき 25-71 内分泌疾患と検査値の組合せで正しいのはどれか。

1. 褐色細胞腫 ————— 血中カテコールアミン低値
2. アジソン病 ————— 血中ACTH低値
3. 原発性アルドステロン症 ——— 血漿レニン活性低値
4. 原発性甲状腺機能低下症 ——— 血中TSH低値

はき 28-62 高血圧と耐糖能異常のいずれも認めないのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 原発性アルドステロン症

はき 29-58 不眠がみられにくいのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. バセドウ病

はき 33-61 内分泌疾患と症状の組み合わせで正しいのはどれか。

1. アジソン病 ————— 色素沈着
2. バセドウ病 ————— テタニー
3. クッシング病 ————— 眼球突出
4. 原発性アルドステロン症 ——— 満月様顔貌

臨床医学各論 内分泌疾患 キーワード：褐色細胞腫 P. 108	
---------------------------------	--

はき 1-87 内分泌疾患について誤っているのはどれか。

1. バセドウ病は男性に多い。
2. 粘液水腫では甲状腺ホルモンの分泌障害がある。
3. 尿崩症では抗利尿ホルモンの分泌障害がある。
4. 褐色細胞腫では血圧が上昇する。

はき 2-70 二次性高血圧の原因とならない疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アルドステロン症
3. アジソン病
4. バセドウ病

はき 5-86 内分泌疾患とその症状との組合せで誤っているのはどれか。

1. 糖尿病 — 多尿
2. 褐色細胞腫 — 高血圧
3. バセドウ病 — 眼球陥凹
4. 先端巨大症 — 舌の肥大

はき 7-76 高血圧がみられない疾患はどれか。

1. 原発性アルドステロン症
2. クッシング症候群
3. アジソン病
4. 褐色細胞腫

はき 8-72 四肢麻痺をきたす疾患はどれか。

1. 褐色細胞腫
2. 尿崩症
3. アジソン病
4. 原発性アルドステロン症

はき 10-74 四肢の筋力低下をきたさないのはどれか。

1. バセドウ病
2. 褐色細胞腫
3. 原発性アルドステロン症
4. 低カリウム血症

はき 13-70 次の文で示す患者で最も考えられるのはどれか。

「45歳の男性。高血圧、多尿、四肢麻痺、低カリウム血症、高ナトリウム血症を認めた。」

1. 尿崩症
2. 原発性アルドステロン症
3. 褐色細胞腫
4. 副甲状腺機能亢進症

はき 17-74 副腎の疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. 原発性アルドステロン症 — 高カリウム血症
2. クッシング症候群 — 高血糖
3. 褐色細胞腫 — 低血圧
4. アジソン病 — 多毛

はき 25-71 内分泌疾患と検査値の組合せで正しいのはどれか。

1. 褐色細胞腫 ————— 血中カテコールアミン低値
2. アジソン病 ————— 血中ACTH低値
3. 原発性アルドステロン症 ——— 血漿レニン活性低値
4. 原発性甲状腺機能低下症 ——— 血中TSH低値

はき 28-62 高血圧と耐糖能異常のいずれも認めないのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. 原発性アルドステロン症

はき 29-58 不眠がみられにくいのはどれか。

1. 褐色細胞腫
2. アジソン病
3. クッシング症候群
4. バセドウ病